

- 市町名 角田市
○学校名 角田市立西根小学校
全学年 49名
○期 日 令和3年9月18日(土)
○内 容

全校児童が西根地区子ども会育成会の協力をいただきながら、田植えや稲刈りを体験的に学習する。また、今年度は実施できなかったが、東京都目黒区立月光原小学校の児童や父兄の有志との交流の場ともなっていた。

○講 師

西根地区子ども会育成会
井上 眞弘 氏



○指導補助

西根地区子ども会育成会
佐藤 高行 氏 堀米 浩二 氏
太田 康博 氏 佐藤 吉正 氏
鈴木 文丈 氏 西根小学校教職員

○児童の声

雨の中大変だったけど、稲をたくさんたくさん刈りたかったです。今年で最後なのが悲しいです。また稲刈りをしたいです。その時は、いっぱい取りたいです。

お父さんと来る時に晴れて嬉しかったです。今年する時も晴れてほしいです。井上おんちゃんや他の人も教えてくれたり、手伝ってくれたりしてくれて嬉しかったです。私はお餅を食べるのが楽しみです。 (1学年・鈴木 えみ)

最後の稲刈りだったけど、8株しか刈れなくて残念でした。稲がザクッと切れて、とても気持ち良かったです。最後の稲刈りで寂しかったけど、とても楽しかったです。ぼくは、早くきなこ餅にして食べたいです。北郷小でも稲刈りや田植えをしたいです。 (2学年・伊藤 暖)

その日は雨が降っていたけど、稲刈りができるようになって、たてわりグループごとに田んぼまで歩いて行きました。春に植えた稲も大きくなっていて驚きました。稲を刈るときに力が予想以上に必要だったので「こんなに力があるんだな」と思いました。今年最後の稲刈りだったので思いを込めて稲を刈りました。大人になって、もしやるようになったら学校で教わったことを意識して植えかたや稲を刈ることにしたいです。色々と詳しく教えてもらったので上手にやれることができました。これから北郷小学校に行っても教えてもらったことを忘れないようにしたいです。

(3学年・太田 初菜)

私は稲刈りの時、いつも地域の方にありがたいなあと思っています。今年も地域の方が朝早く起きて、いろいろ準備をしてくださいました。

この日は雨も降っていたので、私たちがやりやすいように、8株だけ刈ることになりました。また、みんなが分かりやすいように体育館の中で稲を刈って見せてくださいました。おかげで雨の中でも私は一生懸命稲を刈ることができました。特に鎌を持つ力の加減をしながら刈りました。そして、刈った稲を落とさないように学校まで大切に運ぶことができました。

地域の皆様、本当にありがとうございました。

(4学年・草野 夢)



私は、始めの会で育成会の方々から鎌の使い方を教えてもらい自分で稲を刈ることができました。せんだんグループでの稲刈りだったので、下の学年に教わった鎌の使い方を丁寧に教えてあげることができ、下の学年の友達も上手に稲を刈ることができました。刈った稲を自分たちで運んだり、結んだりして、収穫の喜びを味わうことができてよかったです。（5学年・佐藤 美音）

土曜日に行った稲刈りは、天候が雨でできるかわかりませんでした。無事、行うことができました。稲刈りでは、6年生を中心に1人8株、稲を刈ることになり、私は、班のみんなと協力して活動することができました。また、低学年に鎌の使い方を教えたり、他の人に気を配ったりして稲を刈ることができました。最後の稲刈りだったけど、刈ることができて嬉しかったです。みんなで刈った稲が無事、おいしいお米になるといいなと思いました。（6学年・田口 莉子）



○講師から

全校稲刈り体験活動は、西根地区子ども会育成会が主体となって支援している事業です。私は毎年春の田植え指導と秋の稲刈り指導を担当しています。今年で19年目になりますが、目黒区立月光原小学校との交流を始めてから月光原小学校の子どもたちも含めて、指導してきました。今年で終わってしまうことは本当に残念でなりません。

西根小で米づくりをしている品種は「みやごがねもち」です。収穫した米は、西根小と月光原小の頭文字を使い、「西の月米」として、5年生が1

kgの袋に詰めて、保護者などに販売をしています。数年前までは「感謝の会」でもちをつけて、全校児童で「実りに感謝」しながら、食べていました。

米づくりをとおして、学んでほしいことは、米の繁殖力のすごさ（1粒から何百もの粒に増える力）、米が主食として日本人の食を支えていること、米は土と水と太陽の力を最大限に活かして育っていく作物であること、現在は機械化が進み、田植え・稲刈りは機械で行われていますが、昔は手植え・手刈りが行われていたことなどです。

私の思いが子どもたちにどれくらい伝わっているかわかりませんが、「西根小で米づくりの体験したことを一生大事にしていってほしい」ということが私からの最後のメッセージです。

（西根地区子ども会育成会・井上 眞弘）

○教職員の声

子どもたちは、今回の稲刈り体験を通して、自分たちで育ててきたお米を収穫する喜びとたくさんの人たちの協力で実施できた感謝を感じ取ることができました。また、自分たちの手で収穫したことで、地域で育てている品種や成長の過程などに興味を持つことができました。今回の学習のために、ご準備やサポートして頂いた皆様、また、当日朝早くから準備をして頂いた育成会の皆様に心から感謝を申し上げます。

（5学年担任・大庭 才鶴）

○教育事務所から

西根地区子ども会育成会が主体となって支援している事業「稲刈り（学校行事）」に、全校児童が取り組みました。高学年児童が低学年児童に、「稲刈りの仕方」や「稲結わえ」の仕方を優しく教えていました。また、西根地区子ども会育成会の支援も手厚く、児童が安心して稲刈りに臨むことができ、「地域全体で子供たちを育む姿」を拝見することができました。美味しいお餅ができあがることを祈っています。

（文責：大河原教育事務所生涯学習担当）

